



# 小山中だより

第2号

令和7年6月24日発行

## 学ぶ姿勢が素晴らしかった広島修学旅行

学校長 片平 真

6月11日から13日までの3日間3年生の修学旅行に同行しました。私は家から直接新横浜へ向かうため淵野辺駅のホームに行くと、なぜか3年生の姿が・・・。「どうしたの？」の問いかけに「班のメンバーがトイレに行きたくなくなってしまったので、待っているんです」との返答。当たり前のことかもしれませんが、仲間を思いやる気持ちに触れ、これから始まる修学旅行がとても楽しみになりました。



新大阪までの新幹線は修学旅行専用電車です。3年生はカードゲームやおしゃべりに大盛り上がりです。私は15回目の修学旅行でしたが、新幹線の車掌さんにも話しかける気さくな生徒たちは初めてでした。

新大阪から広島までは一般の方との混乗でした。実際に一般の方との接点は14号車だけでしたが、すべての車両で乗車マナーを考えた姿勢が見られました。

広島駅から平和記念公園までは最初の班行動です。とはいえ、昼食時間、移動時間も含めて2時間程度しかありませんでしたので、実質はそれぞれの班が食べたいランチをいただくくらいのことしかできません。私も「せっかく広島に来たんだからここはお好み焼き」と駅ビルの中にあるお店に行くと、そこにも小山中生が・・・、「校長先生。一緒に食べませんか」との誘いを受け、楽しいランチタイムとなりました。

平和記念公園では公園内をガイドさんに案内していただきながら巡ることと資料館を見学する時間でしたが、3年生の学ぶ姿勢に圧倒されました。真剣なまなざしでガイドさんの話に耳を傾け、メモを取ったり資料の絵をその場で写したりしている人もいました。資料館の見学も1つひとつの展示物について

その解説文をしっかりと読み、80年前の広島で起こった悲惨なできごとをしっかりと受け止めようとする姿勢がひしひしと感じられました。このような3年生の姿を見て「長い移動時間と高い交通費をかけても3年生が広島に来る意味はあるな」と改めて思いました。

通常の学校生活に戻った3年生には目標である「世界平和」の実現に向けた炎が修学旅行に行く前よりも力強く燃えていることと思います。「世界平和」はとても壮大な目標であり、本当に実現するためには人類が乗り越え





るべき壁がたくさんあります。しかし、あきらめてしまったらその実現は絶対にできません。小山中の職員玄関には以前の3年生が広島市からもってきたのであろう「被爆アオギリ二世」があります。（「被爆アオギリ」は平和記念公園の中にありました。その種から育てたものが二世です）まだ、ひょろっとした茎にようやく小さい葉っぱがついただけのものです。このアオギリを見ていると3年生の「世界平和」への願いの象徴のように思います。今はまだ小さいものですが、その命を絶やすことなく立派なアオギリに育つ頃には小山中を巣立った生徒たちの「世界平和」を願う声もさらに大きなものになっていることを楽しみにしています。

### <修学旅行スナップ集>

